



1

いつも たのしい

「○○○○幼稚園／保育所／子ども園」。

おへやの中で なか あそんでいる こども たち。

絵を え かく子、

おりがみを こ おる子、

絵本を えほん よむ子。

みんな たのしそうですね。

ぬく

子供たちに感じてほしいこと

- 幼稚園・保育所などが楽しい場であること



はるくん 「なっちゃん、絵が じょうずだね」

なっちゃん 「ありがとう、はるくん」

ひろしくん 「ぼくも かこうっと」

ふうちゃん 「わたしも！」

わいわい にぎやかです。

みんなで なかよく 絵をかきました。

ゆっくりと ぬきながら

先生 「そろそろ おかたづけの じかんですよ」

なっちゃん 「はい！」



3

なっちゃんは いそいで

クレヨンの ふたをしました。

ぬく

伝えたいこと
身につけたい力

身の回りのものを 大切にしよう

前日にあったクレヨンがなくなっていることは、後片づけの時に確認していない結果であると言えます。紙芝居全体を通して、「なぜ、なくなったのか?」「なくさないためにどうすればいいか」を、子供たちと一緒に考えていきます。

子供たちに感じてほしいこと

- 「ない」と気づいたときに、よく探したほうがいいということ
- 片づけるときに、全部がそろっているかを確認したほうがいいということ



4

なっちゃんは つぎの日も

絵を かきました。

でも・・・

なっちゃん 「あれっ? あおが ない」

あおいろの クレヨンが ありません。

なっちゃん 「きのうは あったのに・・・」

クレヨンを 1本ほんずつ たしかめてみても

なっちゃん 「あれ・・・やっぱりない・・・」

すこし間をあける

なっちゃん 「まあ、いっか。

また買かってもらおうっと」

ぬく

伝えたいこと
身につけたい力

欲しいものがあつたときは、
よく考え、ものを大切に使う

「買ってもらえばいい」という
意識に疑問を持ってもらう。



5

なっちゃんは、おうちに かえってから
おかあさんに おねがいをしました。

なっちゃん 「おかあさん、あおの クレヨン 買って

おかあさん 「どうしたの？」

なっちゃん 「あのね、なくしちゃったの・・・」

おかあさん 「じゃあ、こんど 用意しておくね」

なっちゃん 「うん、ありがとう」

ぬく

伝えたいこと
身につけたい力

身の回りのものを 大切にしよう

きちんと整頓された、はるくんのクレヨン箱は、身の回りのものを大切にしている状態を示しています。



なっちゃんは あおいろを つかえませんが、はるくんに おねがいしました。

なっちゃん 「はるくん、あおいろの クレヨン かして」

はるくん 「うん、いいよ」

なっちゃんは はるくんに

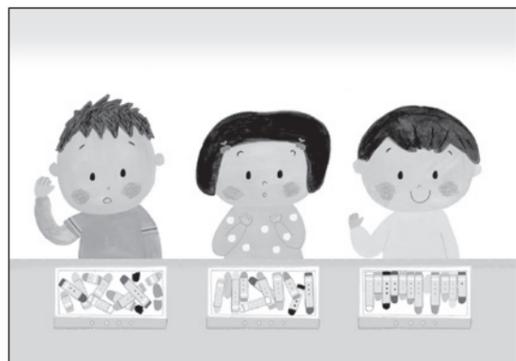
クレヨンを かしてもらいました。

なっちゃん 「はるくんって やさしいね」

はるくん 「そう？」

なっちゃん 「うん、それに クレヨンが とっても きれい。

へーっ、そんなに きれいに ならべてるんだ」



みんな ならべかたが ちがいますね。

はるくんとは なにが ちがうかな？

(ひろしくんのクレヨンばこをさしながら)

ひろしくんは なにいろが ないかな？

なにいろが ないのか

見^みつけるのが むずかしいですね。

どうして むずかしかったのでしょうか？

ぬく

子供たちに感じてほしいこと

● 「なぜ」「どうして」を考えること

ここでは、子供たちに3つの問いかけをします。そのうち最後は、理由を考えさせる問いかけです。ただ、正答を求める必要はありません。「なぜ」「どうして」と考えること自体が、子供たちの成長を促します。

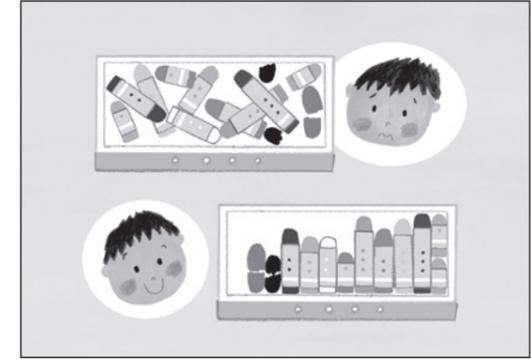
伝えたいこと
身につけたい力

約束やきまりを守ろう

クレヨンの並び順は、約束やきまりではありません。ただ、「きれいにクレヨンを片づけると、使いたいときにすぐに欲しい色が出せるようになる」というイメージを与えることができます。

〈参考〉クレヨンの整理方法の例

- クレヨンの向きを揃える
- 折れたクレヨンは、同じ色を揃えて入れる
- （しまうときに）巻紙を整える、または、巻紙を少しずつはがしながら使う など



8

入れかたが わるいと よくわかりませんね。

だから、ひろしくんは

きちんと 入れかえてみました。

上^{うえ}が ならべなおすまえの クレヨンです。

下^{した}が ならべかえたあとの クレヨンです。

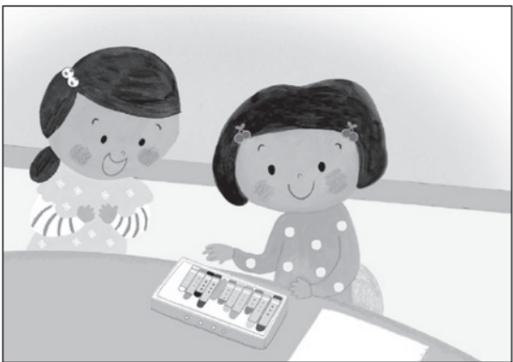
こうすると わかりやすく なりますね。

なにいろが ないのかな？

そうですね。

きいろが ありません。

ぬく



なっちゃんは、クレヨンを ならべなおしました。

さいしよは あか。

つぎは きいろ。

そのつぎは みどり。

ぜんぶ きれいに ならべおりました。

なっちゃん

「きれいに かたづけると きもちいいな！」

ふうちゃん

「なっちゃんの クレヨン きれいだね。

にじ みたい」

ふうちゃんも 見みにきました。

ふうちゃん

「わたしも やろう。

どうすればいいのか おしえて」

ぬく

伝えたいこと
身につけたい力

身の回りのものを 大切にしよう

きちんと後片づけをして整頓すれば、紛失しているかどうかを早期に発見することができ、身の回りのものを大切にすることにつながります。



ふうちゃん 「あれっ？ あおが 2本^{ほん}ある。

きっと なっちゃんのだ」

ひろしくん 「ぼくは きみどりが 2本^{ほん}あるよ」

ふうちゃん 「それ きっと わたしのだ」

ひろしくん 「でも ぼくは きいろがないよ」

ふうちゃん 「わたしの ところに 2本^{ほん}ある」

どうやら 3人^{にん}の あいだで

クレヨンが 入れかわっていたようです。

なっちゃん 「これからは もっと たいせつにしなきゃ」

なっちゃんは つぶやきました。

そして 3人^{にん}は きづきました。

「おかたづけを きちんとすることが

とても だいじなんだね」

ぬく

伝えたいこと
身につけたい力

身の回りのものを 大切にしよう

その日にあった出来事をご家族に話すことで、子供たちを通じて、ご家族の中でも身の回りのものを大切にすることへの理解を促します。



なっちゃんは おうちで

おかあさんに はなしました。

なっちゃん

「おかあさん、クレヨンのことだけど、
買^かってくれなくても よくなったよ」

おかあさん

「えっ? どうして?」

なっちゃん

「あのね、きょうね・・・」

そういって、なっちゃんは おかあさんに
3人^{にん}で クレヨンをならべなおしたことを
はなしました。

おかあさん

「そうだったの、よかったね。」

これからは たいせつに つかおうね」

なっちゃん

「うん。さいごまで たいせつに つかうね」

おしまい